

# 生命環境化学グローバル教育研究拠点

## (Global Education and Research Center for Bio-Environmental Chemistry)

2010（平成22）年度インターンシップ・プログラム 応募要領

「海外からの短期（90日以内）留学受入」

### 趣 旨

本インターンシップ・プログラムは、海外から博士課程学生を受け入れることにより学生間の交流を促進することを目的とします。すなわち、博士後期課程学生を90日以内の短期間、海外研究拠点より受け入れて共同研究を推進することにより、双方の学生が国際性豊かな研究者に育つ場と機会を提供するためのプログラムであり、大学院学生の国際性への啓蒙および契機とすることを目的とします。また、本プログラムによって、本学と海外との研究者間における共同研究を促し研究者のネットワークを形成すること、すなわち、海外研究拠点の形成を推進するものであります。

### 受入学生の応募資格

1. 本拠点の事業推進担当者が当該研究室への受け入れを承認した**博士後期課程**の学生。
2. 英語を母国語とする国の大学を卒業しているか、同等以上の英語能力を有する学生が望ましい。
3. 受け入れに必要な実践的コミュニケーション能力をもち、本学への受け入れによって国際性豊かな研究者として本事業発展への貢献が期待できる者。

### 応募書類

以下の項目について所定の書類を英文で作成し、**受け入れ研究室の指導教授からグローバルCOE事務局宛に提出**してください。（応募書類はメールに添付して送信し、サイン入りの文書は別途郵送してください。）

1. 申請書（所定の書式を使用） [Application Form](#)
2. 現指導教授からの推薦書

### 募集要領

1. 受入時期：2010/平成22年度中（2011/平成23年3月31迄）に帰国すること。90日以内を標準としますが、特別な場合には、予算の範囲内で90日を超える留学も認めます。  
\*90日を超える滞在にはビザが必要となりますのでご注意ください。
2. 受入手続：受け入れる各研究室にて、外国人招聘研究員として受け入れるために必要な手続を行なってください。（部局により必要書類や様式が異なるため採択後に別途ご連絡します。また、国際交流会館（宿舍）の申請を行なう場合は、受入手続と併せて行なってください。）
3. 受入経費：採択者に対しては受け入れ期間や宿舍等の状況に応じ、原則として以下の経費

を来日直後に日本円にて支給します。

旅費：航空運賃実費（ディスカウント・エコノミーチケット料金）

滞在費：日当滞在費は、1日あたり総額で6,500円程度。ただし宿舎は滞在期間等により増減額調整を行なう場合もあります。

4. 募集人数：年間で約10名程度を予定

5. 募集： 随時（但し、審査は下記の期限毎に取りまとめて行います。）

受付区分：2010年2月19日（第1回目） 2010年5月6日（第2回目）

2010年年8月1日（第3回目） 2010年11月1日（第4回目）

この後の募集および審査は、応募状況に応じて決定します。

7. 応募書類の提出先：

各受入先の事業推進担当教授宛に提出し、事業推進担当教授から「グローバルCOE 事務局」（[gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp)）宛に申請書（PDF）を送信してください。メールのタイトルは「GCOEインターンシップ（受入）」と表記してください。

## 審 査

応募者の審査は、グローバルCOE拠点代表者の下に設置するインターンシップ・プログラム選考WGにより行われます。

## プログラム参加者の義務

1. 受け入れ期間終了後1ヶ月以内に、本プログラム参加を通じて行った共同研究に関する簡単な報告書を提出してください。（本拠点のホームページや発行する冊子、および本プログラムの実績報告書に掲載される可能性があります。）
2. インターンシップ（短期留学）は、共同研究の成果も求められますので、帰国後にできるだけ論文として投稿していただくことが望まれます。

## その他の注意事項

応募に先立って派遣する研究室および受け入れ先研究室の責任者と情報交換を密にし、以下の点を明瞭にしておいてください。

### **【学生側】**

1. 旅費支給（来日）以降の渡航日程（帰国日）の変更は認められません。
2. 旅費・宿泊・現地でかかった交通費等の領収書やチケットは廃棄せず帰国後も必ず保管してください。（場合により、帰国後に精算が必要な場合があります。）
3. 指導教員と相談の上、適切な海外旅行保険に加入し来日してください。短期留学に際して採択学生は、各所属先大学・機関の短期留学（渡航）として必要な手続きを行った上で来日してください。

#### 【受入指導教員側】

1. 大阪大学のCOE プログラムの一部として実施し、「海外から留学生を受け入れて共同研究を行うことにより、双方の学生が国際性豊かな研究者として成長するための契機とする」という目的を明確に伝えた上で、協力を仰いでください。
2. 受け入れ先で行う研究内容を応募者と具体的に相談した上で、どのような便宜（宿舎、実験施設、大学内施設の利用など）が図れるかを事前に応募者に説明してください。
3. 申請が採択された場合は、渡航費・滞在費をグローバルCOE ファンドがサポートすることを先方に明確に伝えてください。また、宿舎については大学機関が保有するまたは民間の安価な宿泊先等を探して紹介する旨を先方に伝えて、出来る限り便宜を図ってください。
4. 受け入れる機関や専攻での立場（身分）についても相互に確認してください。
5. 日本滞在中は全期間をカバーする必要かつ十分な保険を購入することを、本人または受け入れ側の指導教員が責任を持ってお願いしてください。

グローバルCOE プログラム「生命環境化学グローバル教育研究拠点」([URL](#))

拠点代表者：福住俊一（工学研究科生命先端工学専攻・教授）

<担当：海外インターンシップ派遣・受入選考WG>

委員長：真島和志（基礎工学研究科物質創成専攻・教授）

副委員長：神戸宣明（工学研究科応用化学専攻・教授）

<お問い合わせ>

グローバルCOE プログラム 事務局（吹田キャンパス）

e-mail：[gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp)

電話： 06-6879-7805

